


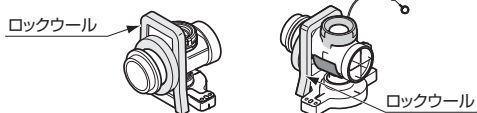
大便器背面カバー（防火区画対応）取付手順

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

カバー  (1個)	アルミガラスクロステープ  (3枚)
--	---

排水ソケットを取り付ける前に、ロックワールが破れていないことを確認してください。破れた場合は、市販のアルミガラスクロステープで補修してください。



便器同梱の施工説明書に従って「給水金具の取り付け(※)」まで作業してください。以降の作業は本紙に従って作業してください。

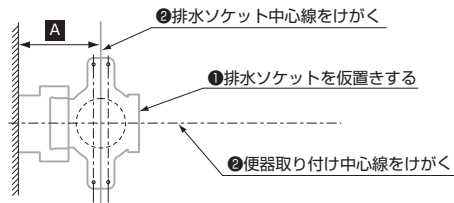
※分岐金具のある機種の場合は、「分岐金具の取り付け」まで作業してください。

1 排水ソケットの仮置き

①便器同梱の施工説明書を参照して、排水の接続が所定の位置になるように排水ソケットを仮置きする。

注意

壁から排水ソケットまでの寸法(右図A)は、便器同梱の施工説明書に記載の寸法に+7mmにした寸法としてください。



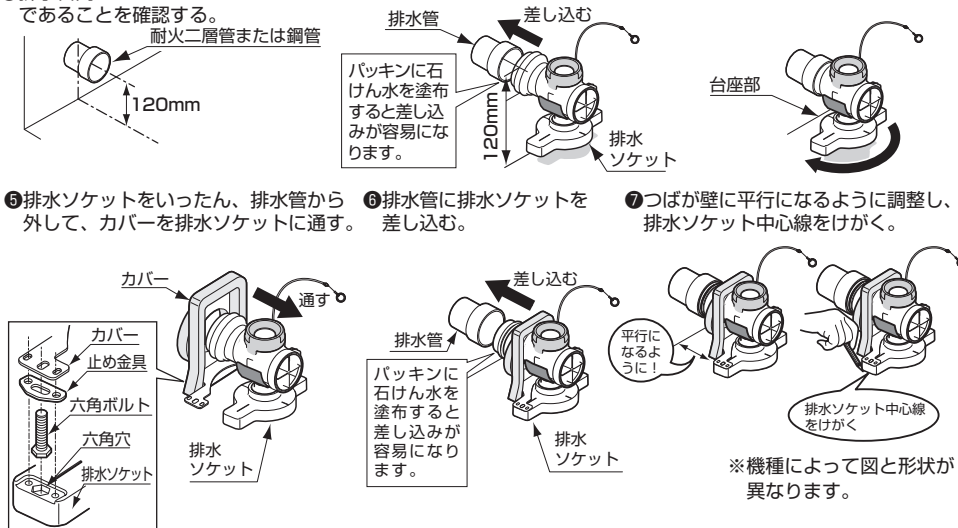
壁から排水ソケットまでの距離は、機種によって異なります。

※このとき、便器取り付け中心線と排水ソケット中心線を一致させてください。

- ②排水ソケット中心線、便器取り付け中心線をけがく。
- ③排水ソケットを外し、排水ソケット取付木ねじ位置にφ3程度の下穴をあける。
- ※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

排水ソケットの仮置き仕方

- ①便器取り付け中心線をけがく。
- ②排水管高さが、120mmであることを確認する。
- ③台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。
- ④台座部を床に当たるまで回転させる。
- ⑤排水ソケットをいったん、排水管から外して、カバーを排水ソケットに通す。
- ⑥排水管に排水ソケットを差し込む。
- ⑦つばが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。



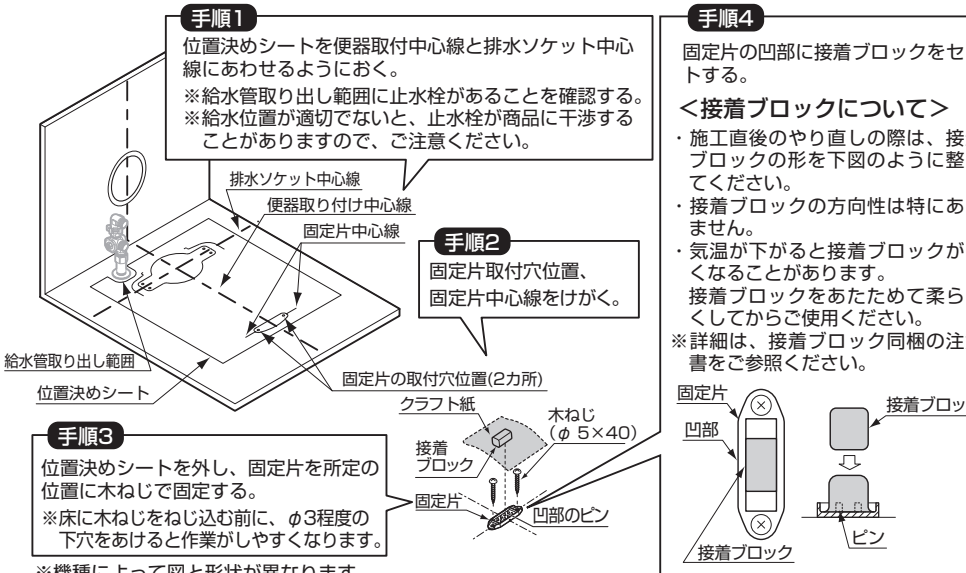
※機種によって図と形状が異なります。

2 固定片の取り付け

(位置決めシート設置状態【床給水の場合】)

手順1
位置決めシートを便器取付中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。
※給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。

手順4
固定片の凹部に接着ブロックをセットする。
<接着ブロックについて>
・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を下図のように整えてください。
・接着ブロックの方向性は特にありません。
・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。接着ブロックをあたたためて柔らかくしてからご使用ください。
※詳細は、接着ブロック同梱の注意書をご参照ください。



手順2
固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

手順3
位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで固定する。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
※機種によって図と形状が異なります。

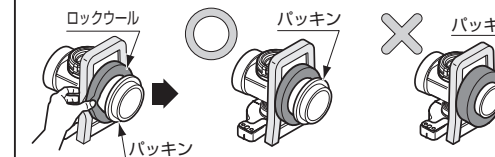
3 排水ソケットの取り付け

※機種によって図と形状が異なります。

- ①排水ソケットを排水管に通す。
※排水管がパッキンの奥までしっかりとハマるように差し込んでください。

注意

ロックワール全周を指で押しつぶしてパッキンを露出させたうえで差し込んでください。

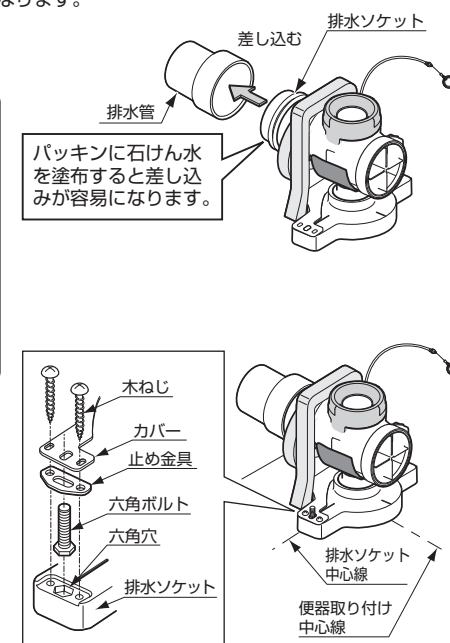


※差し込み不足によりすき間から水漏れするおそれがあります。

- ②排水ソケットに六角ボルトを立て、止め金具を通したうえで、木ねじで床(左右2カ所)に固定する。
※取り付ける際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにご注意ください。

注意

必ず実行
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込ませる
確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

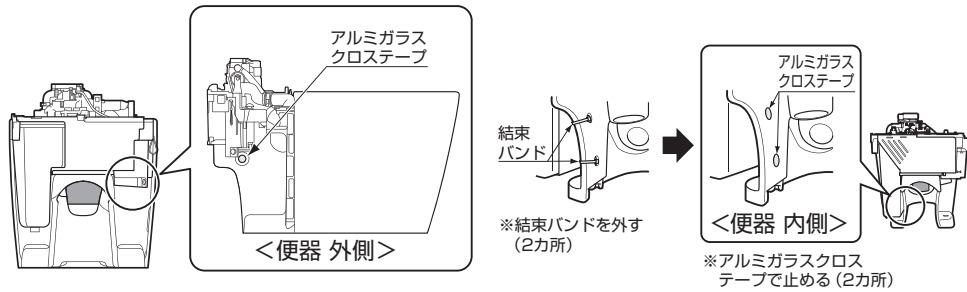


4 アルミガラスクロステープの取り付け

①便器の外側をアルミガラスクロステープで止める。

※機種によって図と形状が異なります。

※機種によっては、下図の様に便器の内側にも穴がある機種がありますので、穴がある場合はアルミガラスクロステープで止める。

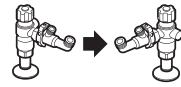


5 便器の取り付け

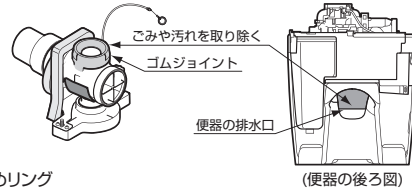
※分岐金具がある機種の場合は分岐金具を外向きに回転させておく。(便器に干渉しないように)

注意

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



②排水ソケットカバーの上をワイヤーが通るように調整して、水ためリングを仮留めする。

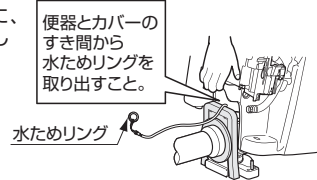
※お手持ちの養生テープなどで仮留めしてください。

※水ためリングの取り付けがない機種の場合は②、③、④を省略してください。



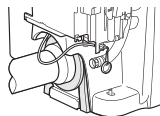
③仮固定した位置がずれないように、便器排水口を排水ソケットに差し込む。

・便器とカバーのすき間から水ためリングを取り出すこと。



④排水ソケットの水ためリングを固定台に取り付ける。

※取り付けの詳細は便器同梱の施工説明書を必ず確認ください。



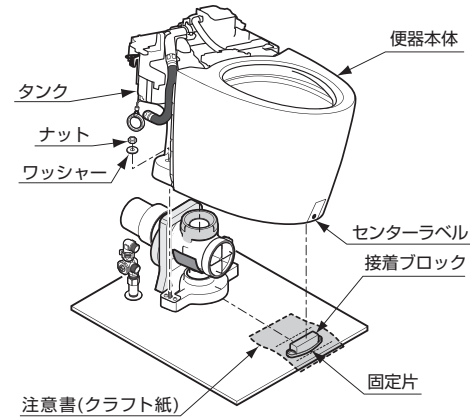
便器の持ちかた

注意 機能部を持つと破損するおそれがあります。



5 便器の取り付け (つづき)

※機種によって図と形状が異なります。



注意書(クラフト紙)

⑤便器とロックウールの間にすき間がないか確認する。



カバー取り付け後の確認

- ・ロックウールがつぶれてすき間がないことを確認する。
- ・ロックウールに破れがないか確認し、破れがある場合は市販のアルミガラスクロステープで補修してください。

⑥-①センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

②便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。

③接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかり押しさえ、センターラベルをはがす。

注意

- ・センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- ・便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。

⑦便器側の取付穴 (2カ所) をワッシャー、ナットで固定する。

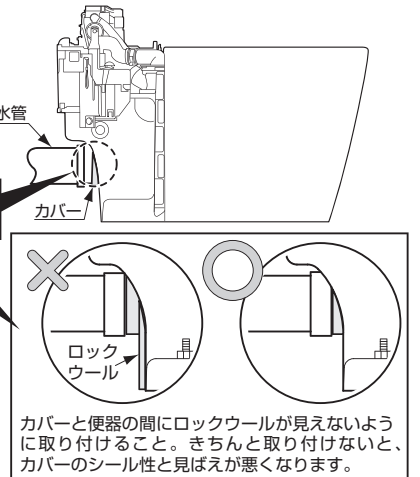
注意

ナットを確実に締めてください。ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

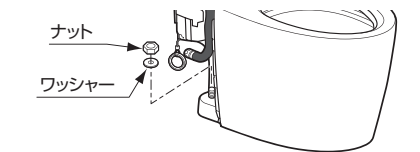
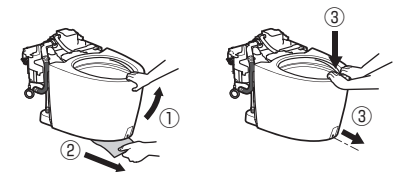
⚠注意	
禁止	タンクの下部を持たない タンクの固定板が変形するおそれがあります。
必ず実行	ロックウールがつぶれて、便器とのすき間なくなるまで押し付ける すき間が生じると防火区画対応不備となります。また、差し込み不足によりすき間から水漏れするおそれがあります。

ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として壁から10~15mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。※壁に傷つかないように注意してください。



カバーと便器の間にロックウールが見えないように取り付けること。きちんと取り付けないと、カバーのシール性と見えが悪くなります。



以降の作業は、便器同梱の施工説明書「ウォシュレット本体の取り付け」に従って作業してください。